

2014年度 法科大学院

第1回 既修者入学試験問題

4時限

民事訴訟法・刑事訴訟法・商法

(論文式)

試験時間 90分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[民事訴訟法]

つぎの文章を読んで、設問に答えなさい。

- (1) 甲不動産の所有権確認訴訟で敗訴した原告が、前訴判決確定後に別の所有権取得原因があったことを発見したと主張して、再び所有権確認訴訟を提起した。
- (2) 乙不動産の所有権確認訴訟で敗訴した原告が、前訴判決確定後に生じた取得原因を主張して、再び所有権確認訴訟を提起した。
- (3) 売買代金支払請求訴訟で敗訴した被告が、判決確定後に同売買代金債権の成立前より存在する貸金債権（反対債権）による相殺を主張して請求異議の訴えを提起した。

設 問

上記（1）～（3）の訴えが認められるか否かに関する訴訟上の問題点を答えなさい。

（解答は全て解答用紙に記入すること）

[刑事訴訟法]

つぎの文章を読んで、設問に答えなさい。

Aは、常習として平成21年2月1日B方に夜間侵入し窃盗をしたとして、逮捕・起訴され、同年3月常習特殊窃盗罪(盗犯等の防止及び処分に関する法律2条)により懲役刑の言渡しを受けて服役し、仮釈放を許されて出所した。ところがその後、Aが同年1月28日C方にも夜間侵入して多額の金品を窃取していたことが発覚した。検察官は、起訴に当たり常習犯と構成するかしないかは検察官の裁量に属するとの判断のもとに、これを単純窃盗罪(刑法235条)で起訴した。

設問1

この起訴に問題はないか。あるとすれば、裁判所はどのような裁判をすることになるか。その理由とともに解答しなさい。

設問2

上記設例において、AがB方侵入窃盗事件につき単純窃盗罪で起訴され、同罪で処断されていたとした場合はどうか。

その理由とともに解答しなさい。

設問3

上記設例において、B方侵入窃盗事件の審理中にC方侵入窃盗事件が発覚した場合、その時点において、検察官としてはどうすべきか。

その理由とともに解答しなさい。

(参照条文) 盗犯等の防止及び処分に関する法律2条

常習トシテ左ノ各号ノ方法ニ依リ刑法第235条、第236条、第238条若ハ第239条ノ罪又ハ其ノ未遂罪ヲ犯シタル者ニ対シ窃盗ヲ以テ論ズベキトキハ3年以上、強盗ヲ以テ論ズベキトキハ7年以上ノ有期懲役ニ処ス

一～三 略

四 夜間人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建造物若ハ艦船ニ侵入シテ犯シタルトキ

(解答は全て解答用紙に記入すること)

[商法]

つぎの文章を読んで、設問に答えなさい。

甲株式会社は公開会社であって取締役会設置の株式会社である。甲株式会社の発行済株式総数は10,000株であり、株主総数は80人である。

設問1

公開会社とはどういうことか、説明しなさい。

設問2

公開会社の場合、その定款に、「取締役は当社の株式を100株以上保有していなければならない」という規定を設けたとしたら、その規定は有効か。理由も述べて解答しなさい。

設問3

取締役会設置会社の場合、株主総会の権限はどのように定められているか、説明しなさい。

設問4

代表取締役の解職について説明しなさい。

設問5

取締役の報酬に関する規制について説明しなさい。

(解答は全て解答用紙に記入すること)